

第29期 定時株主総会

2017年6月16日(金)

株式会社 **クレスコ**



報告事項





報告事項



第29期の事業報告

たゆまぬ「信頼と成長」のために

大きく！ 繋ぎ！ 超える！

2016年4月始動の5ヶ年ビジョン

CRESCO Ambition 2020

Lead the Digital Transformation
～『クレスコグループ』はデジタル変革をリードします。～

挑戦する企業集団

洗練された技術力と確かな品質

ひとりひとりが輝く **クレスコ**

企業の投資意欲は**拡大傾向**



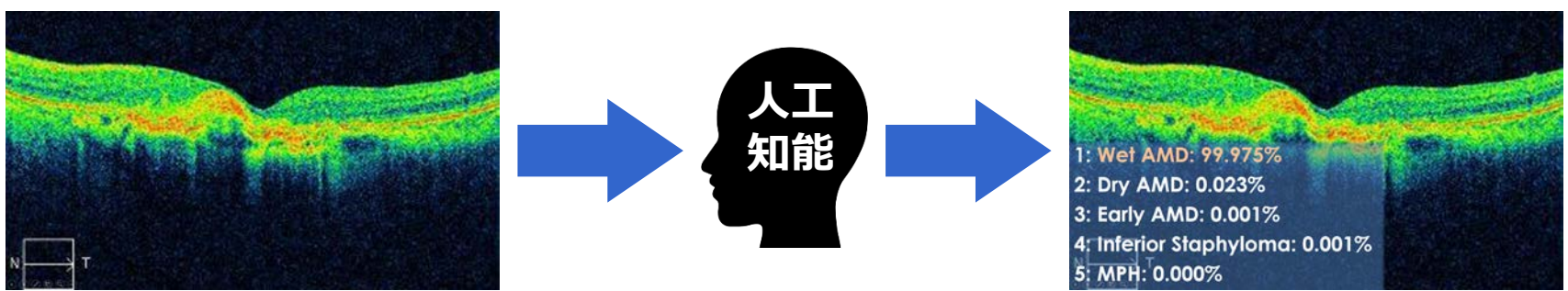
「IBM Watson」を活用した 日本初の人材マッチングシステム

- 2016年4月 フォーラムエンジニアリング社が運用開始



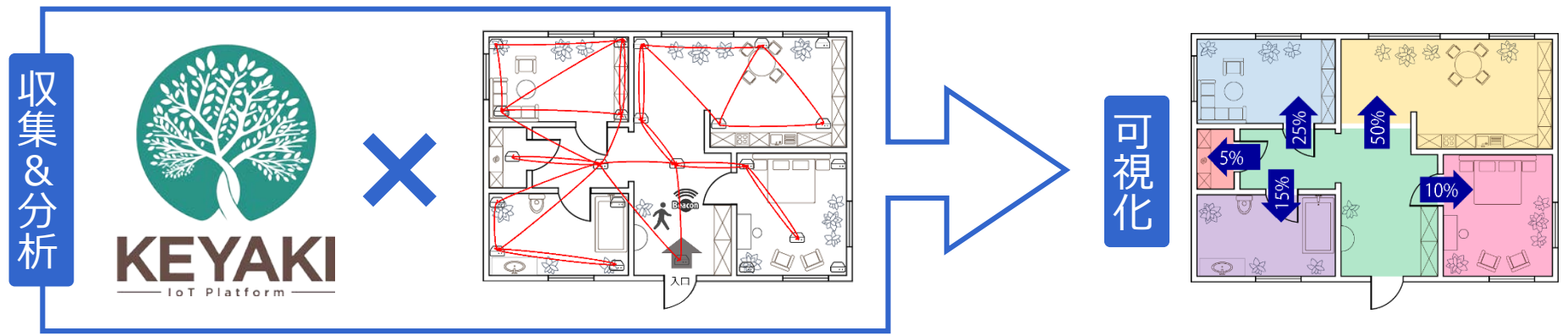
人工知能を活用して眼科疾患の早期発見を目指す 共同研究

- 名古屋市立大学大学院 様との共同研究
- 眼球内部の網膜の断層面を撮影した画像を人工知能で解析し、眼底疾患に関する医師の診断の補助となる情報を提供
- 医師の正確かつ迅速な診断のサポートと、疾患の早期発見に役立つ



IoTを実現するプラットフォーム「KEYAKI」で ショールームの動線分析の実証実験

- 大手ガス会社様のショールーム
- 来場者の動きを収集 & 分析し、動線や滞在時間を可視化
- ショールーム内の設備の配置改善や、マーケティングに活用



「バスタ新宿」のバス管制システムに、 子会社「アイオス」の製品『バイ・ザ・ウェイ』が採用

- ETC (電子料金收受システム)車載器の情報を多目的に利用する仕組み
- バスタ新宿のバス管制システムの、「バスの認識」「ゲートの制御」「在線管理」で採用





子会社	
	クレスコ・イー・ソリューション
	クレスコ ワイヤレス
	アイオス
	クレスコ九州
	クレスコ北陸
	クレスコ上海 科礼斯軟件(上海)
	シースリー
	クリエイティブジャパン
	メディア・マジック
	エヌシステム

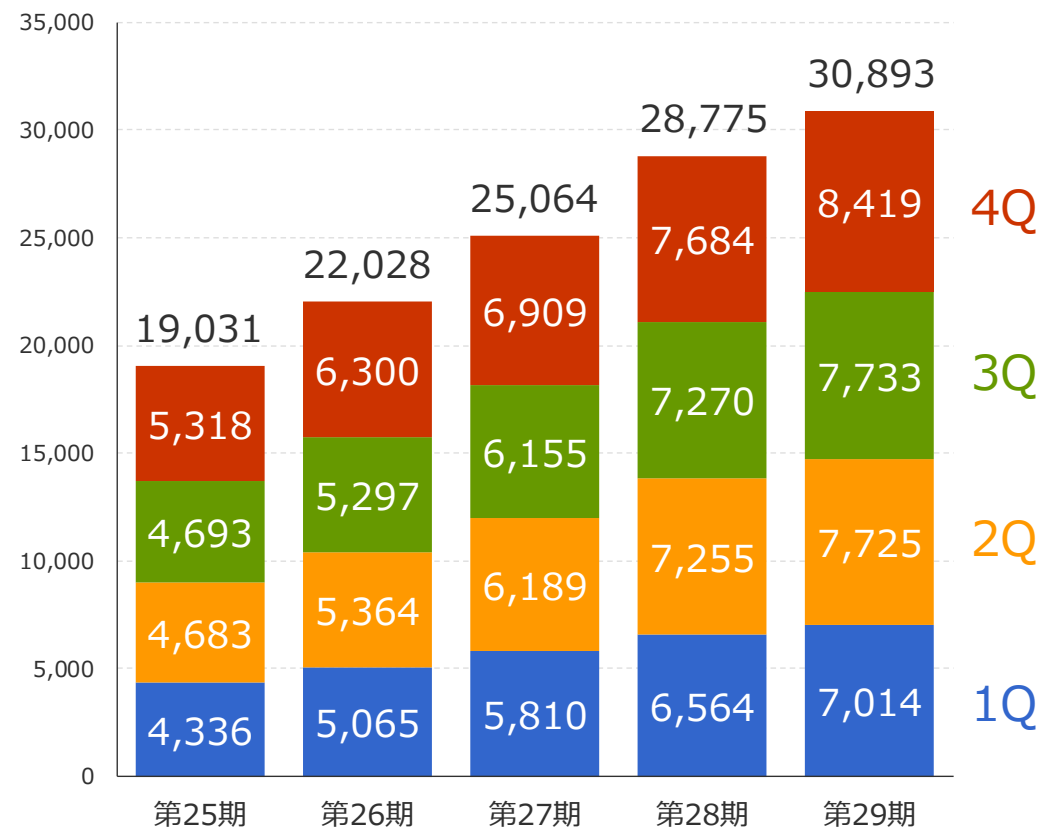
関連会社	
	ウエイン
	ビュルガー コンサルティング
	エル・ティー・エス
	イー・アイ・エム スタッフ

売上高

[単位：百万円]

第29期 **308億9,300万円**
 前期 287億7,500万円

UP
 107.4%
 21億1,800万円

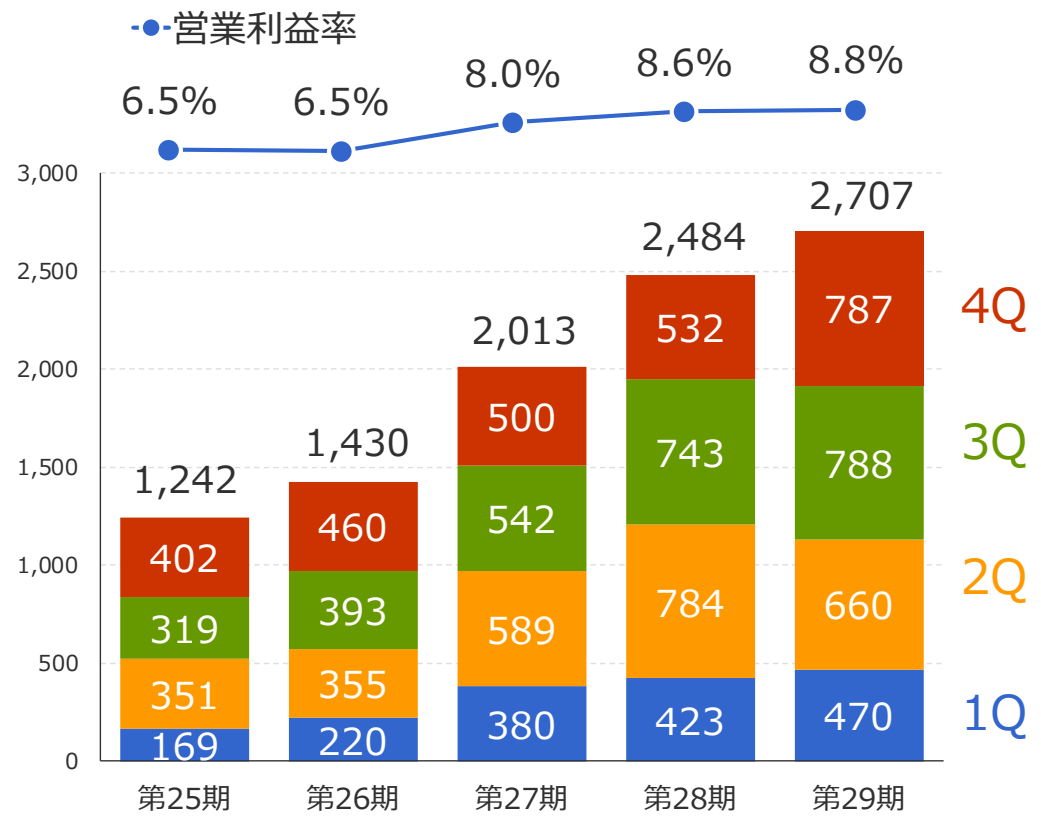


営業利益

[単位：百万円]

第29期 **27億700万円**
 前期 24億8,400万円

UP
 109.0%
 2億2,300万円



經常利益

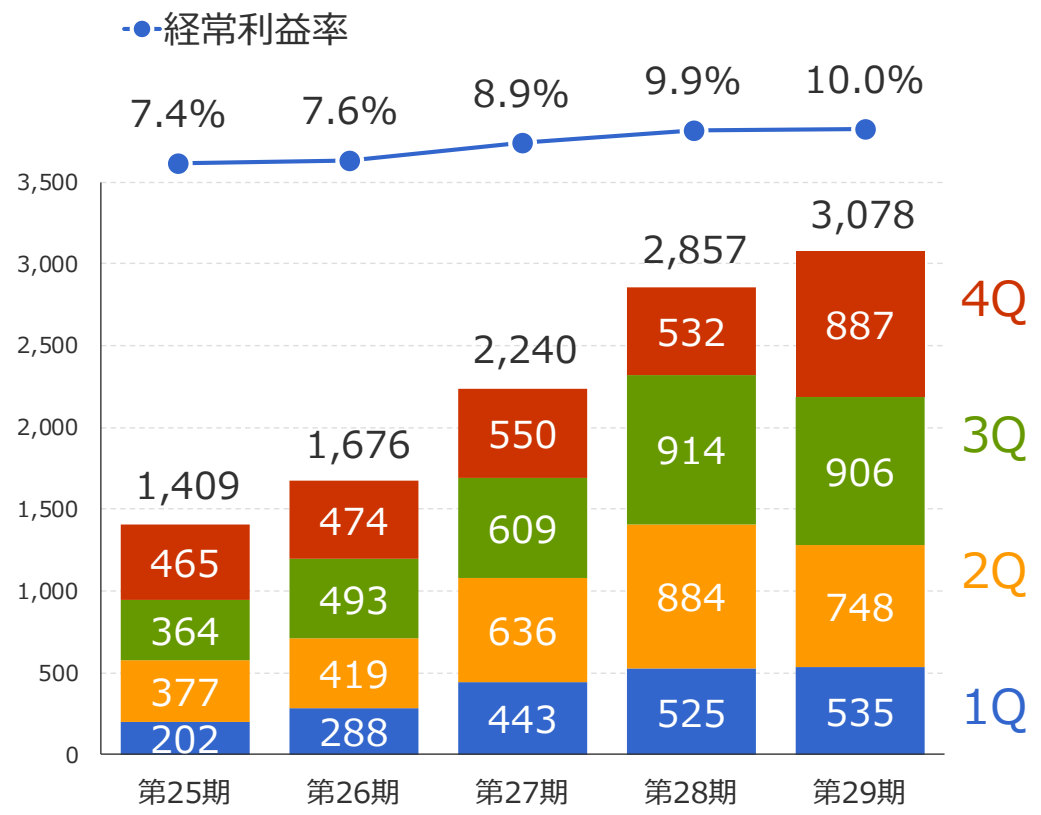
[単位：百万円]

第29期 **30億7,800万円**
 前期 28億5,700万円

UP

107.7%

2億2,100万円



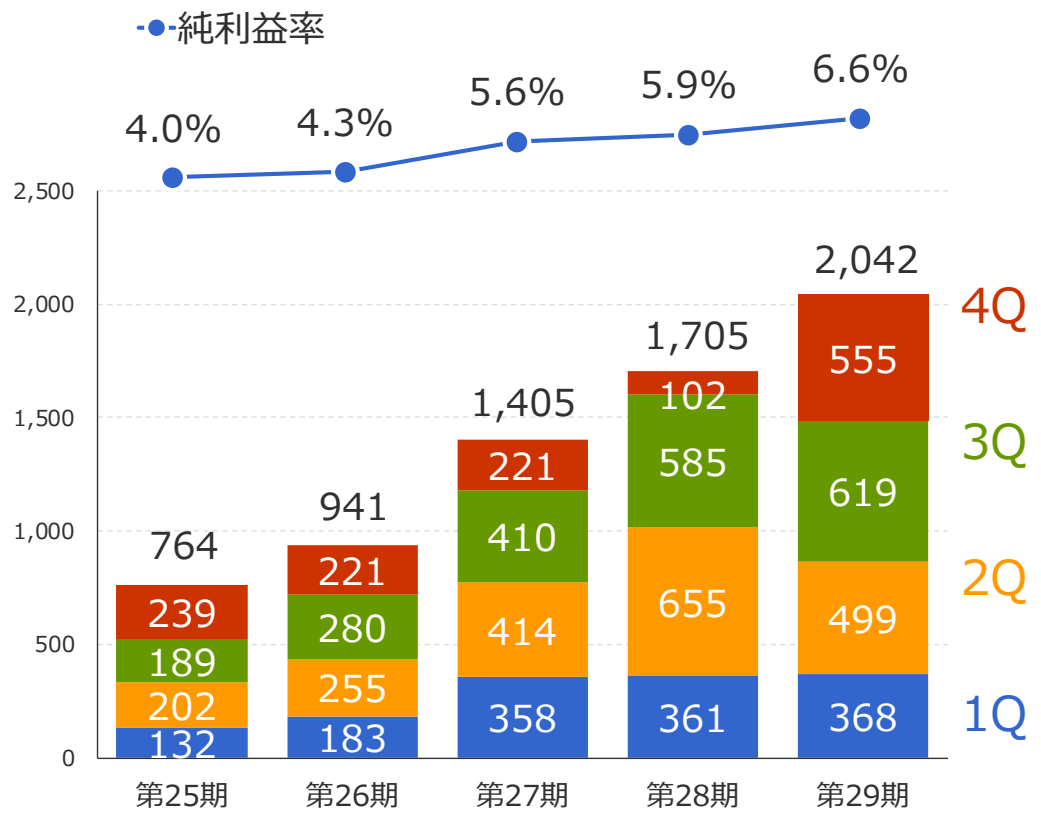
当期純利益 (親会社株主に帰属する当期純利益) [単位：百万円]

第29期 **20億4,200万円**
 前期 17億500万円

UP

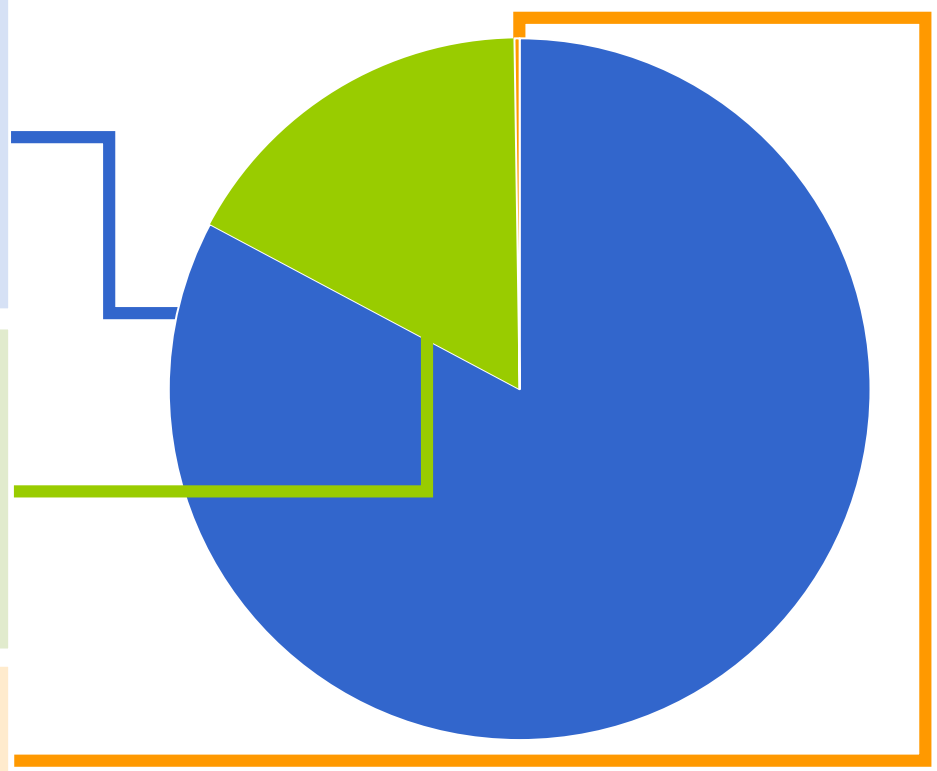
119.8%

3億3,700万円



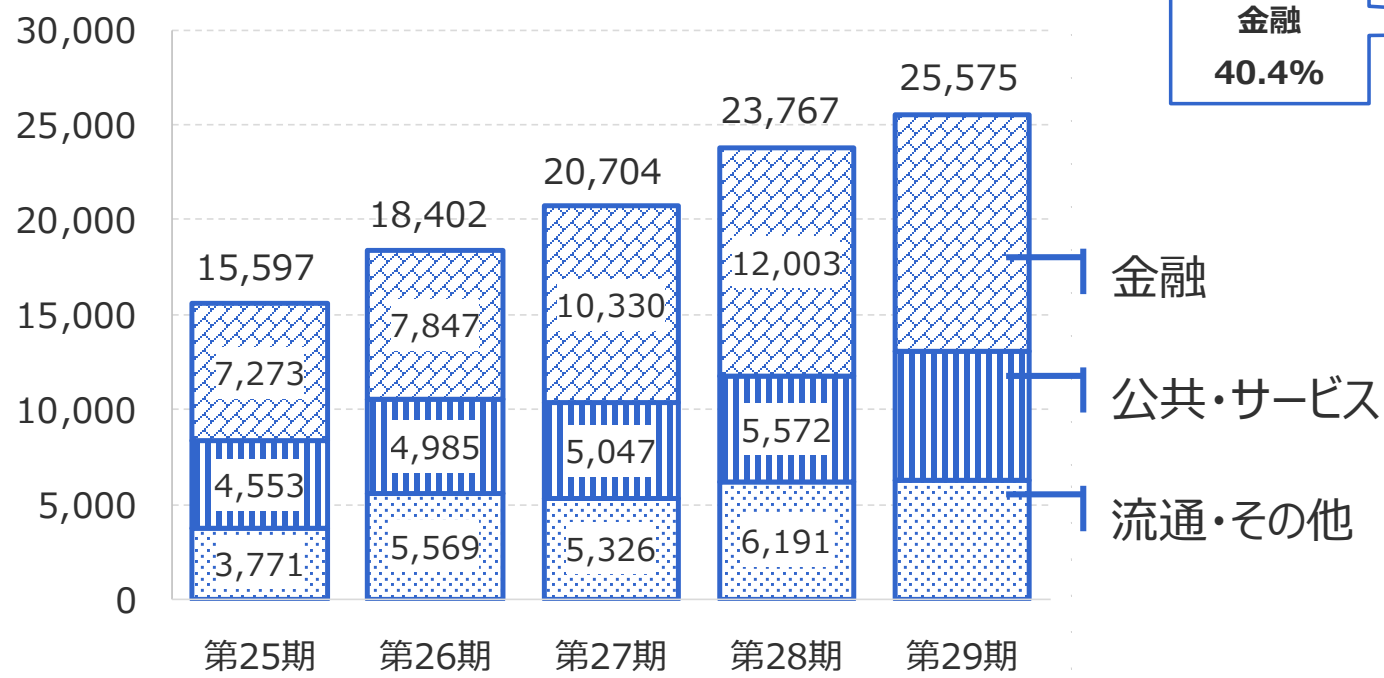
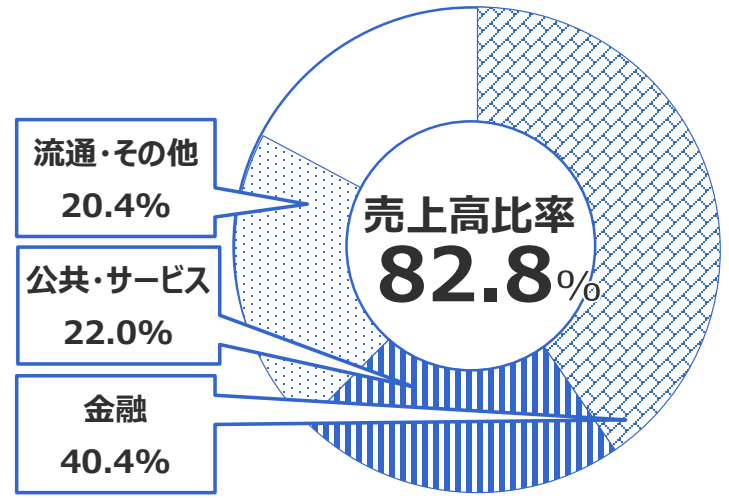
セグメント	事業	分野
<p>ソフトウェア 開発</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスアプリケーション開発 ・IT基盤システム構築 ・オリジナル製品・サービス 	<ul style="list-style-type: none"> ・金融 (銀行、保険、カード、証券 etc.) ・公共・サービス (航空、鉄道、電力、放送、医療、旅行、人材ビジネス etc.) ・流通・その他 (運輸、小売 etc.)
<p>組み込み型 ソフトウェア 開発</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・組込型ソフトウェア開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・通信システム (携帯情報端末 etc.) ・カーエレクトロニクス (デジタルメーター、センターディスプレイ etc.) ・その他 (デジタル家電、医療機器、制御システム etc.)
<p>商品・製品 販売</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子会社「クレスコワイヤレス」の商品・製品販売 	

セグメント	売上高比率
ソフトウェア 開発	82.8%
組み込み型 ソフトウェア 開発	17.0%
商品・製品 販売	0.2%



ソフトウェア開発

売上高 **255億7,500万円**
 セグメント利益 **30億7,700万円**

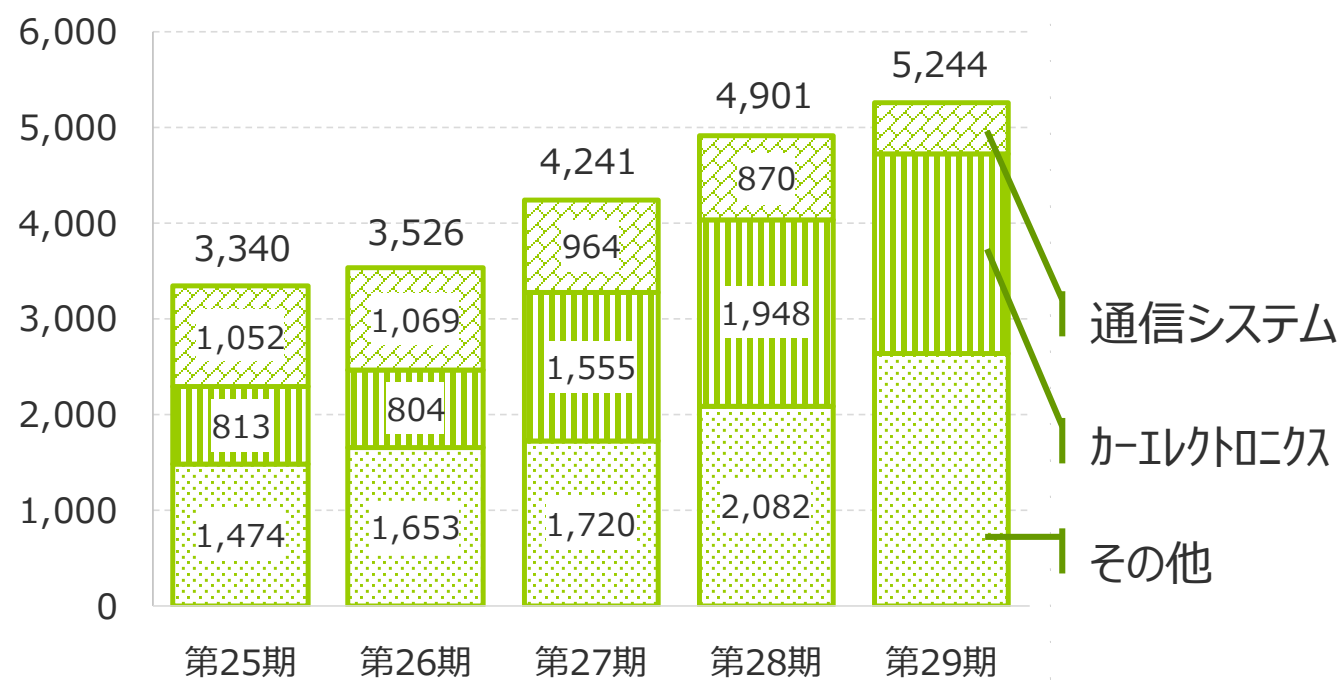
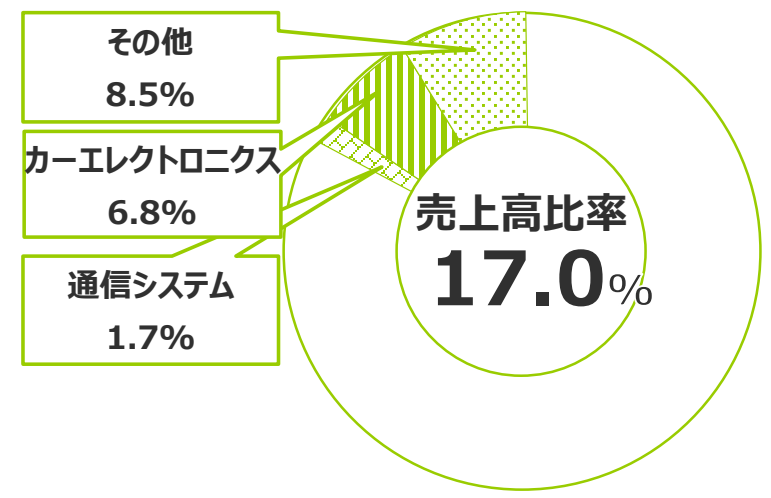


124億8,600万円
67億9,500万円
62億9,300万円

組込み型ソフトウェア開発

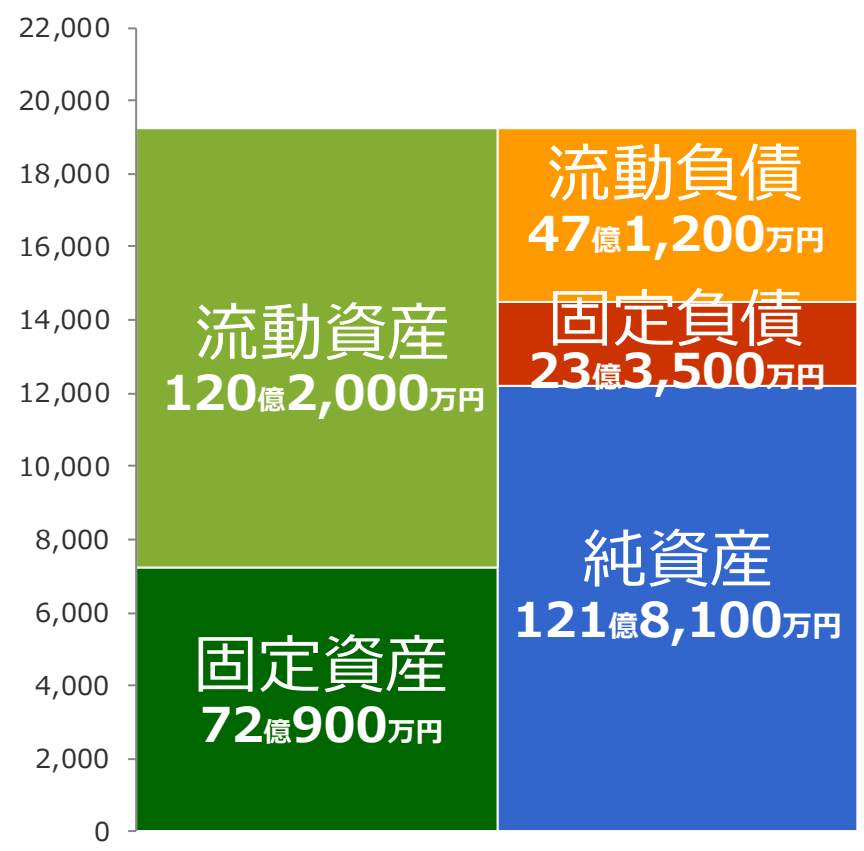
売上高 **52億4,400万円**

セグメント利益 **8億2,700万円**



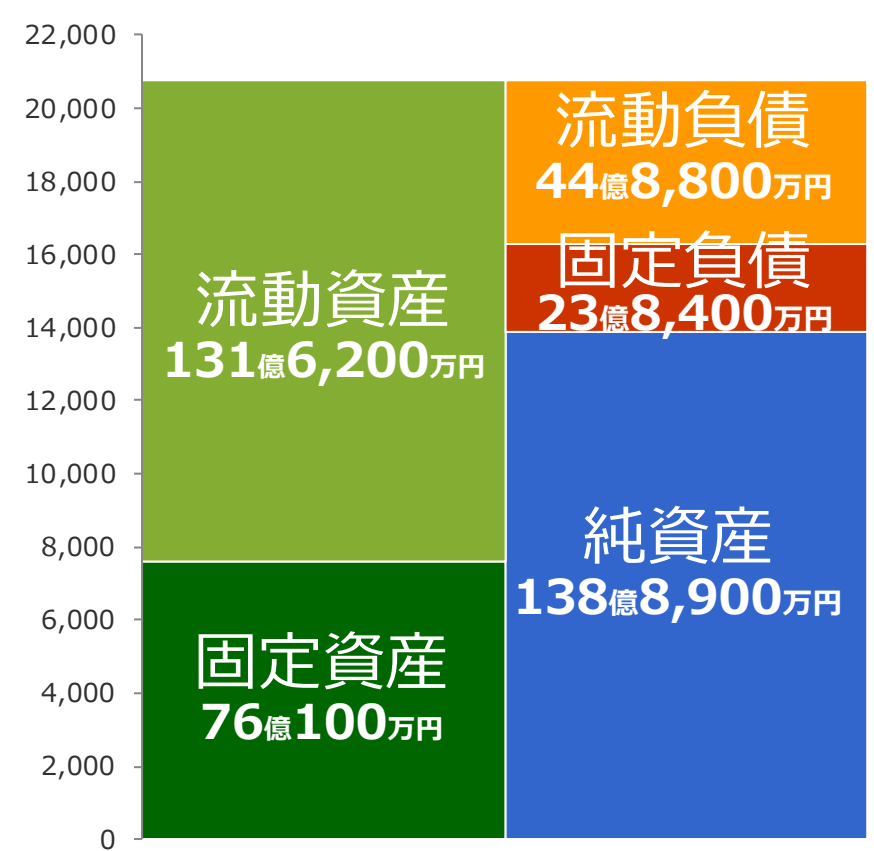
5億1,800万円
20億9,000万円
26億3,500万円

第28期末



資産総額 : **192億3,000万円**

第29期末



資産総額 : **207億6,300万円**



	純資産合計
平成28年4月1日残高	121億8,185万円
剰余金の配当	▲ 5億9,984万円
親会社株主に帰属する当期純利益	20億4,275万円
自己株式の取得	▲ 47万円
自己株式の処分	8,103万円
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額	1億8,449万円
連結会計年度中の変動額合計	17億795万円
平成29年3月31日残高	138億8,980万円



報告事項



第30期の取組み

「期待」を超えて、次のステージへ

大きく！ 繋ぎ！ 行動する！

2016年4月始動の5ヶ年ビジョン

CRESCO Ambition 2020

Lead the Digital Transformation
～『クレスコグループ』はデジタル変革をリードします。～

挑戦する企業集団

洗練された技術力と確かな品質

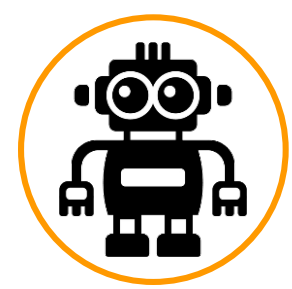
ひとりひとりが輝く **クレスコ**

日本情報システム・ユーザー協会「企業IT動向調査2017」

- **34%の企業が、IT投資の予算を引続き増やす**
- 中堅企業のIT投資意欲が高まる
- 基幹系や情報系システムの需要が、引き続き増加

情報サービス産業全体の動向

- **先端技術を取込んだシステム開発需要が急速に拡大**



1. 人材の獲得
2. 開発体制の強化
3. グループ体制の見直し および 連携強化による資本効率の向上
4. 顧客に対する提案品質の向上 および リレーションシップの強化
5. 鉄板品質の提供 および 徹底的な生産性の追求
6. 未来技術の追求 および サービス化ビジネスの推進
7. 営業拠点の拡大による新規顧客の開拓
および ビジネス領域の拡大
8. スペシャリスト人材の育成 および スキル強化
9. コーポレートガバナンス および コンプライアンスの強化
10. 働き方改革 および ストレスケアの推進

1

組織

- 旅行業界特化型組織の設置
- 中京地区ビジネス拡大に向けた、営業拠点の設置
- 現地調査と協業企業の開拓に向けた、
ベトナム駐在員事務所の設置
- 人材交流によるグループシナジーの強化

2

事業

- プラットフォーム関連事業の活性化推進
- 特命営業担当による、顧客リレーションシップの強化
- オフショア推進による、開発体制の強化
- 新規ビジネス創出に向けた、インキュベーション機能の強化

3

その他

- M&Aの推進
- スペシャリスト制度の導入
- 働き方改革の実践と、働きやすい職場作り
- コーポレートガバナンス体制の見直し



Minervade PoCKET

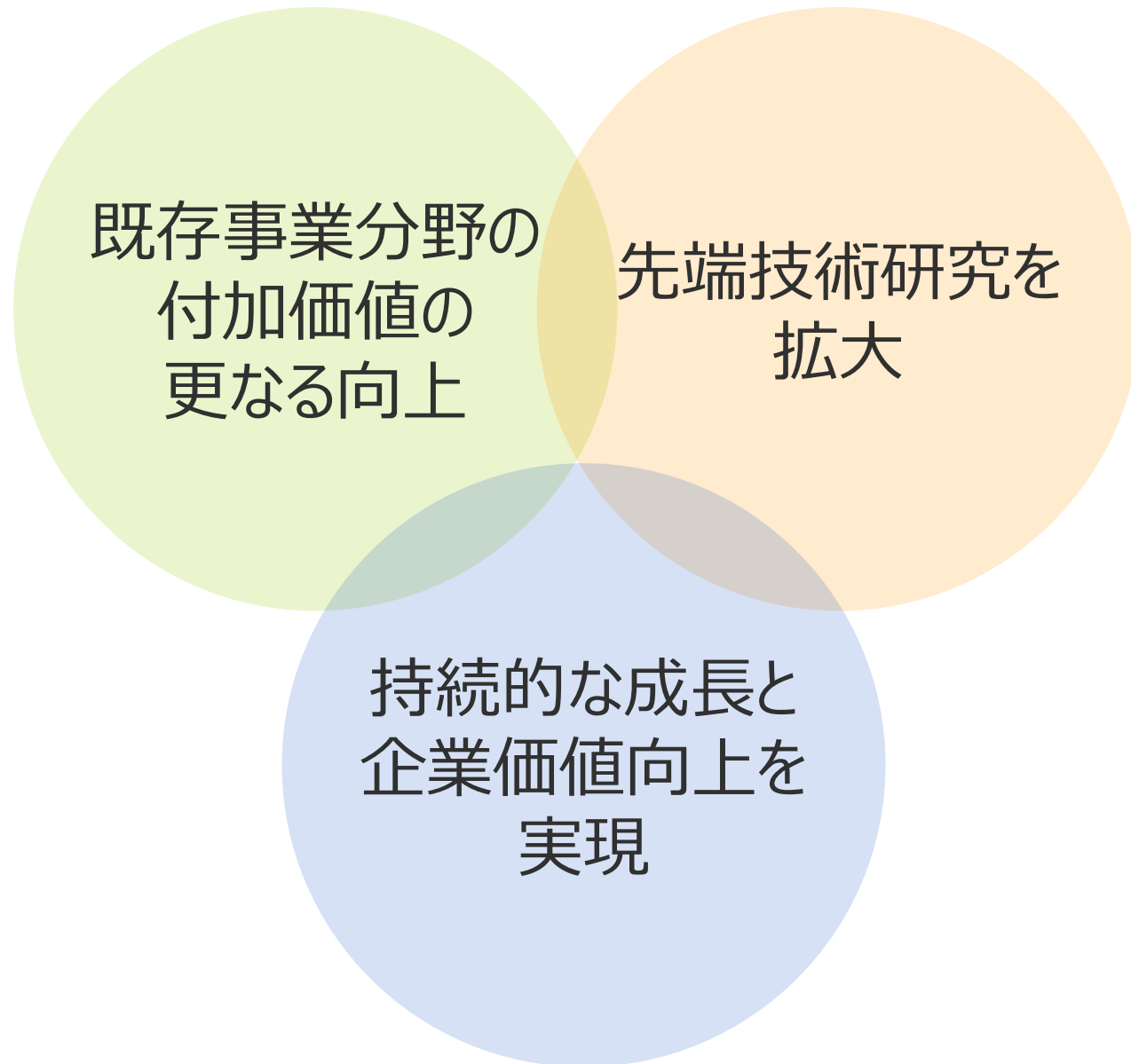
IBM Watson™ の導入を支援するサービス

特徴

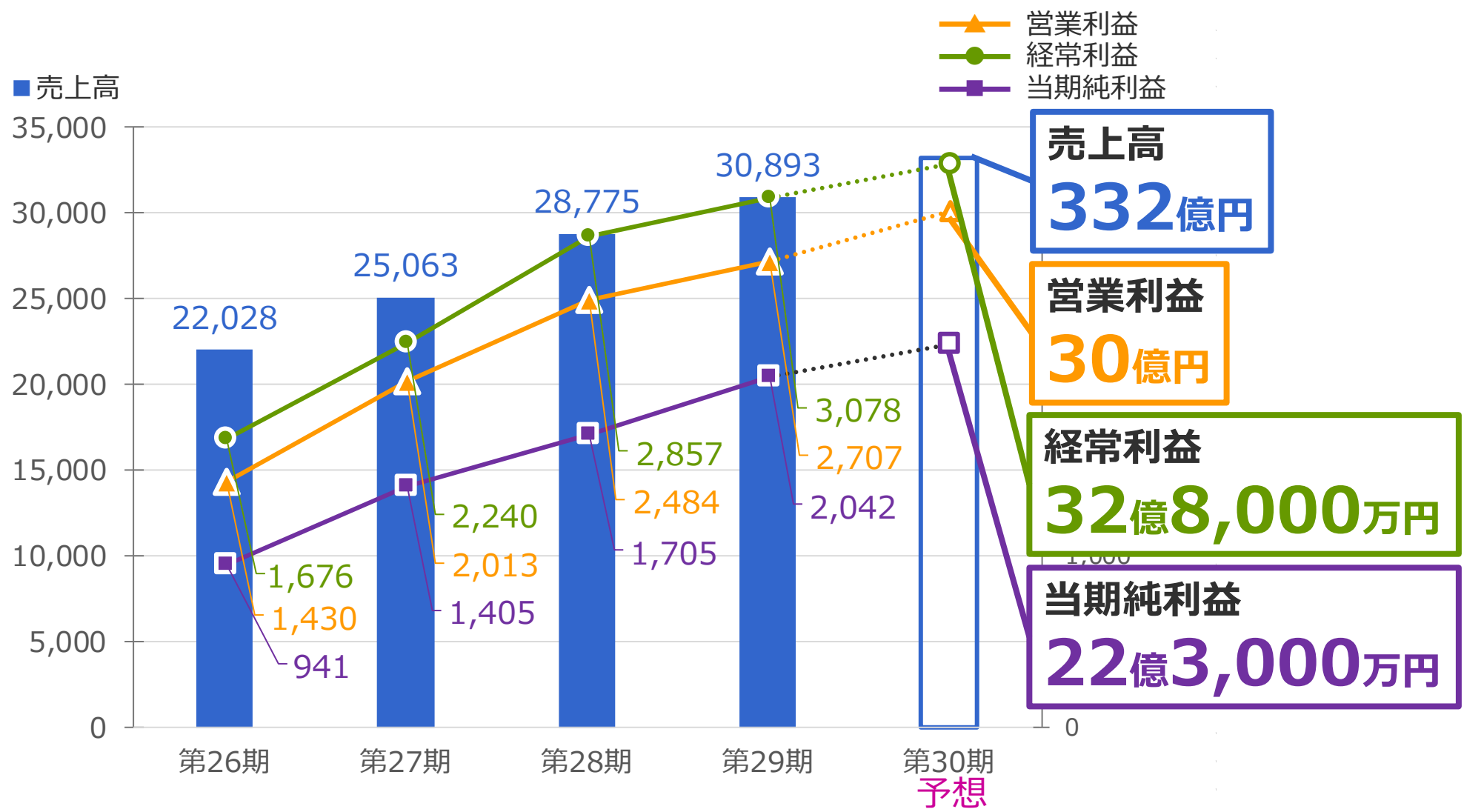
- **本格導入前に概念検証** (PoC : Proof of Concept) することで、Watsonの**運用方法や適用範囲等の事前検証**や、**教育データの作成**が行える
- 定額制でリーズナブルな料金体系 (初期費用 : 350万円~)
- Watsonの専門家によるサポート
- ハンズオンサービスによる支援 (専門家から直接指導を受けられる、**参加型・体験型の学習サービス**)
- 無償で簡易UIによるFAQサービスを提供



博多三氣 瑞穂店

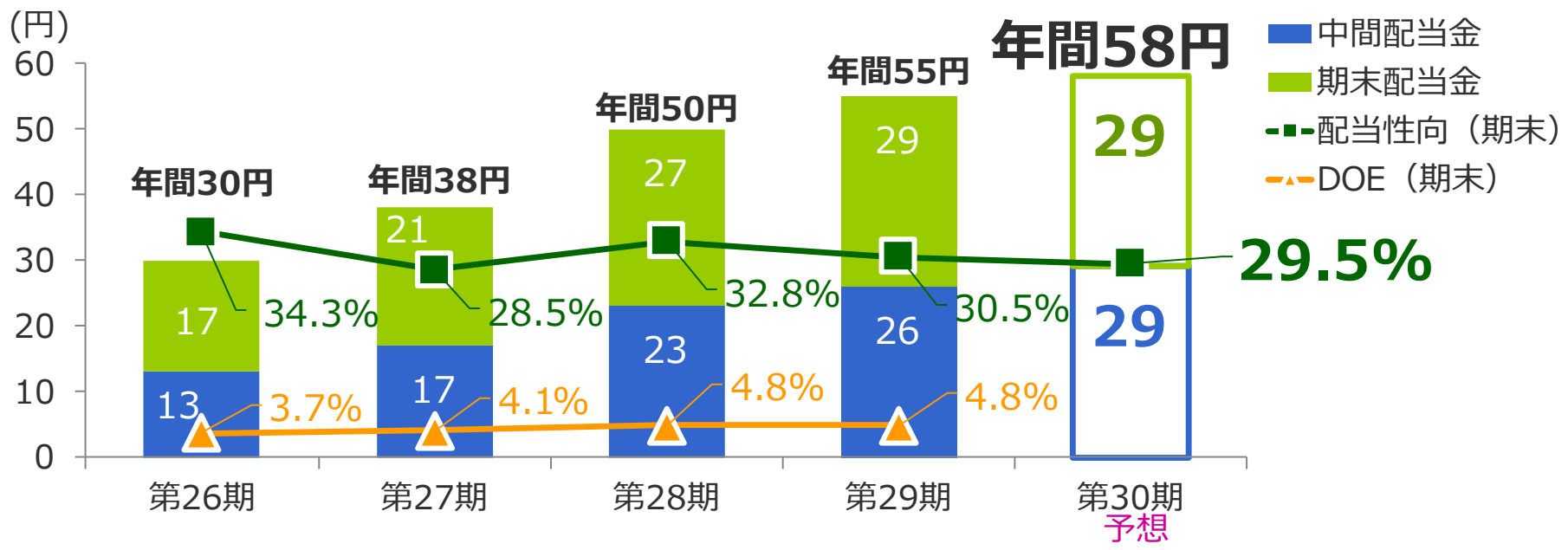


2.14. 第30期 業績の目標



【注】「当期純利益」は「親会社株主に帰属する当期純利益」です。

2.15. 第30期 配当の目標



配当方針

- 当社は、株主のみなさまに対する利益還元を経営の重要課題と位置付けており、株主資本の充実と長期的な安定収益力を維持するとともに、業績に裏付けられた適正な利益配分を継続することを基本方針としております。
- 配当に関しましては、原則**当社(単体)**の経常利益をもとに特別損益を零(ゼロ)とした場合に算出される当期純利益の40%相当を目途に、継続的に実現することを目指してまいります。

- ❖ 掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤り等によって生じた損害等に関し、当社は一切責任を負うものではありません。
- ❖ また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。
- ❖ なお、本資料における将来予測に関する情報および業績見通し等の予想数値や将来展望は、現時点で入手可能かつ合理的な情報による判断および仮定に基づき記述しております。
- ❖ 今後、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予告なしで情報を変更したり、実際の業況や業績結果と大きく乖離するなど、本資料の内容とが異なる可能性もございます。予めご了承ください。

【 IRのお問合せ 】 広報IR推進室
Mail : ir@cresco.co.jp
TEL : 03-5769-8058